

分科会一覧表

分科会	提案のテーマ	提案の骨子	提案者	司会者	助言者	
1	授業改善	ビフォー&アフターを活用した授業改善	「子どもの主体性をはぐむ支援の在り方と授業づくり」をテーマにビフォー&アフターの手法を用いた授業改善の実践報告	京都府立中丹支援学校 教諭 小林 豪	秋田県立秋田きらり支援学校 教頭 初山 節子	東京都立八王子東特別支援学校 校長 田村 康二郎
		外部専門家を活用した改善授業の取組	大学准教授や視能訓練士などの外部専門家を招いての授業改善を実施。「授業力向上」につながった研究授業と改善授業の取組	香川県立高松養護学校 教諭 村尾 美緒	島根県立江津清和養護学校 教諭 古和 早織	愛知県立小牧養護学校 校長 間宮 一高
		松養式 CAPDo システムによって学校生活を整える	一般的に言われる「PDCA サイクル」ではなく、「CAPDo システム」を2年間かけて検討・整備したその成果を提案	熊本県立松橋養護学校 教諭 山口 徹		
2	学習指導Ⅰ	教育課程の編成、学習指導計画、評価	進路指導と連携した機能的な教育課程の編成や教科毎のシラバスの作成、評価に関わる3者での信頼ある評価の工夫	神奈川県立平塚養護学校 総括教諭 町田 昌彦	東京都立城南特別支援学校 教諭 植竹 安彦	山形県立ゆきわり養護学校 教諭 矢野 裕之
		視覚認知の特性に配慮した教科指導（事例1、2）	「児童生徒一人一人の自ら学ぶ姿を引き出す授業づくり」を目指して、生徒の苦手意識を克服するために心理検査等を用いて分析し、改善の工夫をした事例	静岡県立静岡南部特別支援学校 教諭 岩田淑子 吉田恵理子	山口県立周南総合支援学校 教諭 山縣 美圭	奈良県立奈良養護学校 校長 下岡 久志朗
		本校の進路支援の取組 ～進学に向けて～	短大へ進学した生徒の教育課程・進路支援・学級での取組と進学・就労を希望する児童生徒に対する本校の課題	大阪市立平野特別支援学校 教諭 二上 朋加 主席 林佳巨 石井清教		
3	学習指導Ⅱ	作業に対する基本的な態度・能力を育てる生活単元学習の取組	生活単元学習の中に「作業的な学習の時間」を設置。生徒一人一人が主体的に取り組めるような作業内容や作業工程、教材教具の工夫、学習環境づくり等について	岩手県立盛岡となん支援学校 教諭 深堀 郁	富山県立高志支援学校 教諭 田口 一志	国立特別支援教育総合研究所 企画部総括研究員 長沼 俊夫
		教科学習における自立活動の視点を意識した授業改善 ～肢体不自由特別支援学校の社会科の授業を通して～	知的代替の社会科の教科学習に焦点をあて、自立活動の視点をを用いて授業改善を進めてきた実践	東京都立江戸川特別支援学校 教諭 五十嵐 美雄	広島県立西条特別支援学校 教諭 西尾 久美子	徳島県立板野支援学校 校長 加藤 賢治
		脳性まひ児の認知特性や視覚障害に考慮した指導について	脳性まひ児に LD 児の指導法であるモーラ分解やキーワード法を用いた平仮名文字の指導や聴覚記憶に働きかける漢字の読み指導の有効性を事例で検討	福井県立福井養護学校 教諭 源甲斐 恵美		
4	学習指導Ⅲ	実態把握からスタートする授業作り	KJ 法、実態把握表の活用、結果の見える工夫などの3つの実態把握を行い、「授業での子どもたちの課題は何か」から授業作りを行った実践	東京都立光明特別支援学校 教諭 山下 さつき	八尾市立特別支援学校 校長 尾上 信子	神奈川県立三ツ境養護学校 校長 伊藤 甲之介
		青春を共に～重度・重複児を含む知肢共同の集団作り	高等部の知肢共同の学習の中で、重度重複の生徒に視点を当て、コミュニケーション支援を中心に取り組んだ集団活動の経緯やその支援の在り方	和歌山県立さきのかわ支援学校 教諭 岡部幸恵 岡田美和	徳島県立板野支援学校 教諭 大石 久美子	大分県立別府支援学校 校長 富藤 馨信
		訪問教育における自立活動の授業づくり	小学部訪問教育の活動の様子（手でスイッチを押して玩具を動かす学習）や授業づくりの工夫	熊本県立苓北養護学校 教諭 佐野 禎美		
5	自立活動	発話が不明瞭なことばの自発使用が少ない児童のコミュニケーション力を高める実践	個別の的確な指導課題分析と指導方法を導くフォーマットの工夫・フォーマットを活用したタイムリーな環境調整についての実践	奈良県立奈良養護学校 教諭 中 美子	鹿児島県立鹿児島養護学校 教諭 岩切 祐司	筑波大学附属桐が丘 特別支援学校 校長 川間 健之介
		外部機関や教科担当者と連携した自立活動	身体面や認知面での本人の困り感に視点を当て、自分の得意不得意を意識し、自分の特性に合った方法の獲得とそのプロセスを大切にしながら取り組んだ実践	山口県立防府総合支援学校 教諭 鬼武 明子	岡山県立岡山東支援学校 教頭 岩崎 渉	明石市立明石養護学校 校長 白石 充夫
		個別の指導計画作成のプロセスについて ～教科指導をしている子どもの自立活動の指導を通して～	個別の指導計画作成において本校作成のチェックリストを活用した事例を紹介。個別の指導計画作成から評価までのプロセスについて提案	長崎県立諫早特別支援学校 教諭 廣瀬 雅次郎		
6	健康教育	重度障害児童生徒の健康管理と指導の工夫	保健管理教室をベースにした、医療的ケアを要する児童生徒の健康管理と学習活動の取組	京都市立北総合支援学校 教諭 山川 雅子	北海道立北海道旭川養護学校 校長 前川 互	NPO法人地域ケアさぼーと研究所 所長 飯野 順子
		本校における医療的ケア～医療的ケア実施主任の取組～	医療的ケアの実施状況と、医療的ケア実施主任の役割及び実施体制、関係機関との連携	愛媛県立しげのぶ特別支援学校 教諭 山本 ゆかり	岡山県立早島支援学校 教諭 額田 哲郎	佐賀県立金立特別支援学校 校長 西田 智浩
		本校訪問教育におけるスクーリングや合同授業の取組 ～医教連携を通して～	周りの人との関わりを楽しみ、QOL 全般の向上を目指して児童生徒の体調に配慮しながらスクーリングや合同学習を実施。その経緯や内容について報告	北九州市立北九州特別支援学校 教諭 山本 直美		
7	情報教育・支援機器の活用	視線入力システム・マイトビーの研究を踏まえた、レーザーポインターを活用したコミュニケーション拡大について	マイトビーを用いて視線を使った入力研究を山梨大学と共同で実施。比較的容易で安価なもので同じ様な活用ができないかと検討しレーザーポインターを活用	山梨県立あけぼの支援学校 教諭 茅場 和弘	千葉県立船橋特別支援学校 教諭 中山 忠史	札幌市立豊成養護学校 校長 永根 道史
		大学と連携した AT(アシスティブテクノロジー)支援体制について	AT に精通した職員を AT 相談員として位置付け、気軽に相談できる体制と地域の大学と連携し、より専門的な視点での相談を実施。支援機器活用が容易になった取組	愛知県立ひいらぎ養護学校 教諭 松本 伸浩	岡山県立誕生寺支援学校 教諭 大塚 認	東京都立村山特別支援学校 校長 杉本 久吉
		自作支援機器及び iPad の活用	障がいのある児童のコミュニケーションを支援するため簡易に音声録音再生できる自作装置と、15 台の iPad を活用した授業実践の紹介	広島県立広島特別支援学校 教諭 内田 俊行		
8	生活指導・寄宿舎教育	進ずる課程の児童の生活指導	ICF を活用した分析や班担任会での分析等を通しての児童に対する指導方法や内容の検討、学部職員と寄宿舎職員との連携の取組	東京都立城北特別支援学校 寄宿舎指導員 長谷川 宏敬	豊田市立豊田養護学校 教諭 井上 賢司	和歌山県立南紀支援学校 校長 谷 嗣弘
		学部の個別の指導計画を活用した寄宿舎での支援のあり方について	小学部の児童を対象とした学部・寄宿舎・家庭との連携による生活指導の実践例	富山県立富山総合支援学校 主任寄宿舎指導員 能澤 昌子	徳島県立板野支援学校 教諭 伊坂 公康	香川県立高松養護学校 校長 竹本 恵一
		寄宿舎で生活している児童生徒の生活指導 ～さをり織りを通して～	余暇時間の取組としてさをり織りを実施。初めてであったさをり織りを通して、生活に主体的に意欲を持って取り組めるようになった実践	広島県立福山特別支援学校 主幹寄宿舎教諭 向 千春		
9	キャリア教育及び進路指導	自立と社会参加を目指したキャリア教育の実践	小学部から高等部まで見通して作成したキャリア教育学習プログラムの紹介とそれに伴う実践報告	栃木県立のざわ特別支援学校 教諭 植木 博美	滋賀県立三雲養護学校 教諭 宇野 明雄	神奈川県立金沢養護学校 校長 服部 潤子
		キャリア教育をデザインしよう ～小学部からのキャリア教育の実践～	東京都のキャリア教育推進校としての取組。小学部からのキャリア教育の指導のポイントや視点、重要性を実践例を通して紹介	東京都立八王子東特別支援学校 主幹教諭 畷本 美香	香川県立高松養護学校 教諭 西村 健一	愛知県立ひいらぎ養護学校 校長 浜島 利枝子
		キャリア教育	キャリア教育推進委員会で作成したキャリア教育全体計画をもとに各学部の I・2 学期の取組の紹介。各学部における勤務観や職業観の育成について深めたい	鹿児島県立鹿児島養護学校 教諭 内野 重敏		
10	地域との連携	地域で豊かな社会生活を営むために～地域学習の取組から～	独自の「居住地個別交流」や「地域学習」の実践を支援相談部の取組として報告 交流及び共同学習のあり方についても考察	北海道真駒内養護学校 教諭 渡辺 晃美	長崎県立諫早特別支援学校 教諭 平山 由嘉	京都市立呉竹総合支援学校 校長 永井 実
		校内外の支援の取組	PT、OT の活用と、県内でのブロック単位での支援の取組。サマーセミナーや地域公開研修会等での人材育成と教員支援について	神奈川県立座間養護学校 教諭 磯崎 真貴子	愛媛県立しげのぶ特別支援学校 教諭 越智 敬子	岡山県立早島支援学校 校長 中野 隆重
		小・中学校との連携 対外的継続支援 センターの機能	支援部が中心となって小中学校からの要望をコーディネートし、理学療法士と言語聴覚士が所属する療育システム部が協力して対外的な支援を実施、その事例の報告	三重県立特別支援学校北勢きさら学園 実習助手・理学療法士 多田 智美 教諭 藤原 卓也		